

利尻富士町 橋梁長寿命化修繕計画

平成 25 年 12 月
(令和 2 年 2 月改定)

利尻富士町 建設課

1. 長寿命化修繕計画策定の背景・目的

1) 背景

- 利尻富士町が管理する道路橋は8橋あり、20年後には全体の50%にあたる橋梁が建設後50年を経過する高齢化橋梁となる。
- 管理橋の維持管理について、従来の事後保全的な対応を継続した場合、維持管理に要する費用が膨大となり、安全性・信頼性を確保するための適切な維持管理を続けることが困難となる恐れがある。
- 限られた財源の中で効率的に維持管理していくためには、適切な時期に修繕を行うなどの維持管理計画の取組みが不可欠である。

2) 目的

- 管理橋の高齢化に対応するため、従来の事後保全的な対応から予防保全的な対応に転換を図り、地域の道路ネットワークの安全性・信頼性を確保させ、橋梁長寿命化修繕計画により修繕・架替えに係わるコスト縮減を図ることを目的とする。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
全管理橋梁数	5	1	2	8
うち計画の対象橋梁数	5	1	2	8
うちこれまでの計画策定橋梁数	5	1	5	11
うちH29年度現在計画策定橋梁数	5	1	2	8

○長寿命化修繕計画の対象:管理橋8橋

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握に関する基本的な方針

- 橋梁の建設年や利用状況などを考慮しつつ、橋梁点検を実施する。また、橋梁点検は、「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)」に基づいて行い、橋梁の損傷を早期に把握する。
- 点検結果は、「基礎データ版市町村橋梁点検データ入力システム」に最新のデータを随時更新し、管理する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

- 橋梁の建設年や利用状況および点検結果を基に、定期パトロールおよび異常時点検を行う。
- パトロール時に排水柵の土砂詰まりが確認された場合には、清掃を行う。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 基本的な方針

- 橋梁点検結果を基に、損傷に対する劣化予測を行い、予防的な修繕の実施を徹底することにより、大規模修繕・架替えおよび事業費の高コスト化を回避し、全体的なコスト縮減を図る。
- 高齢化の進む橋梁に対応するため、従来の事後保全的な対応(損傷が大きくなってから行う修繕・架替え)から、予防保全的な対応(損傷が小さなうちから計画的に行う修繕・計画的架替え)に転換を図る。
- 詳細点検結果に基づく橋梁の健全度把握及び損傷状況に応じて橋梁長寿命化修繕計画を見直す。
- 橋梁長寿命化修繕計画は、ホームページで公表する。

2) 対象橋梁の状態

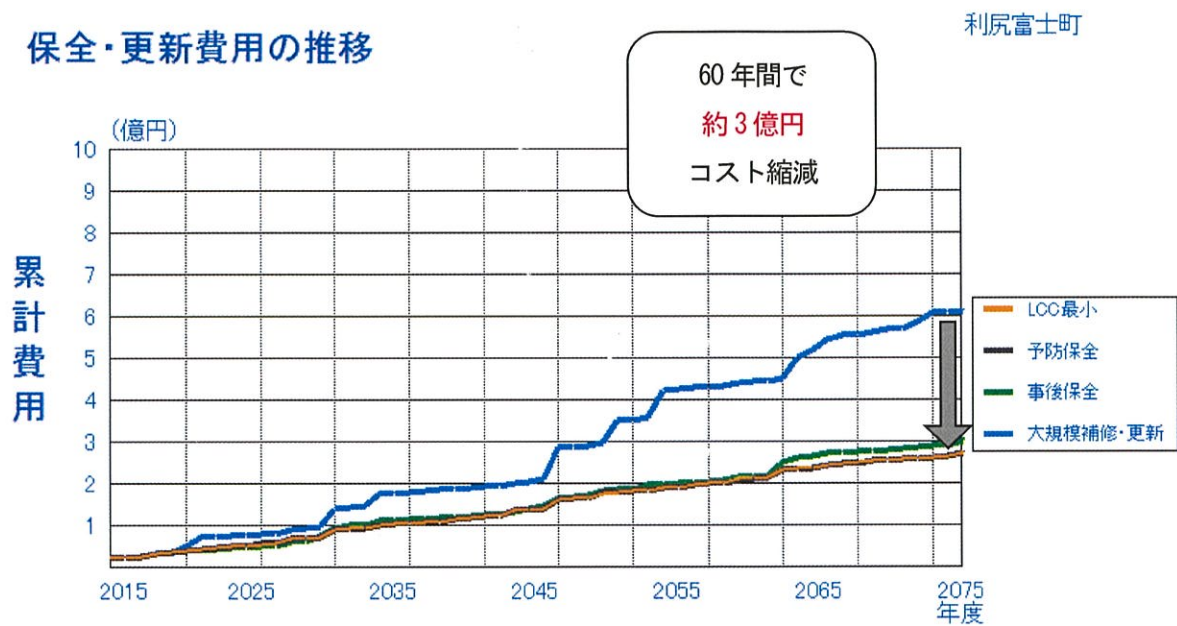
対象橋梁の点検・診断結果は、別紙対象施設一覧表による

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式1-2による。

6. 長寿命化修繕計画による効果

- 今後 60 年の修繕・架替え事業費を試算した結果、予防保全型の累計は約 2 億 7 千万円、大規模補修・更新の累計は約 6 億円となり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約 3 億円のコスト削減効果が期待できるシナリオとなる。



7. 計画策定担当部署及び意見聴取した学識経験者等の専門的な知識を有する者

1) 計画策定担当部署

- 北海道 利尻富士町 産業建設課 建設農林係 電話 0163-82-1111

2) 意見を聴取した学識経験者

- 北海学園大学 工学部 社会環境工学科 教授 杉本 博之